



令和7年3月号 Vol.85
情報メディア教育センター

春の訪れを華やかに彩ってくれる
”ミモザ”の花。かわいらしい黄色の
お花で人気です。イタリアでは3月8日
の国際婦人デーに友情や感謝の気持ちを
表すため、女性同士や男性から女性へ、ミモザの花束を贈る習
慣があるそうです。この習慣は各国に広まり、ミモザの日と呼
ばれているそうです。元気をもらえるような黄色のお花良いで
すね。



本を読まないキミへの BOOK GUIDE

今日何もしなかったなあ…
と思ったときに読む本

ニッチなテーマで、できる限り読み易い
本を選びました。本を読まないあなたの
ためのブックガイドです。



「退屈って尊い」

何かした方がよいのかなあ、分からないなあ。そんな時にこそシン
トが見つかる！かも。「コマ撮り映画の撮影」、「キッチンで学ぶ
科学実験」など、日常を楽しむアイデアがたくさん詰まってい
ます。パラパラめくるだけで、“これやってみようかな？”とい
う気持ちが湧いてくるはず。何もしない日を過ごせるのも今の特
典。せっかくの自由時間を楽しく、退屈な日々がワクワクに変わる
こと間違いなしです。

『退屈をぶっとばせ！』

Joshua Glenn, Elizabeth Foy Larsen/著 オーム社



「何もない日常はありえない」

この本には著者のなんてことない日々が書き綴ってあるのです
が、なぜか笑える、しみじみする、気づかなかったことに気づけ
る。日常を楽しむ視点のようなものをさりげなく教えてくれま
す。こんなふうに分かた一日を眺めてみたら「今日も宿題間に合
った。」とか「誰にも怒られなかった。」とか「今度遊びに行く
約束をした。」とか…。出てくるわ出てくるわ「何もしなかっ
た」ところが案外いろいろやってるわ～と思えてきますよ。

『どうやら僕の日常生活はまちがっている』

岩井勇氣/著 新潮社



「胸をはって何もしない！」

今日何もしなかった…もしかしたら何もしなかった自分によくわか
らない罪悪感を抱く人がいるかもしれません。
イヤイヤ誰にも迷惑かけてないんだから堂々としていてください。
この本を読めば、むしろ何もしなかった自分への罪悪感は全くな
くなります。逆に人間らしい生活できてるんじゃない？
と肯定感があふれてきます。児童書ですが、大人が読んでも面白い
本です。

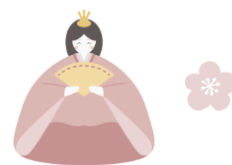
『モモ』

ミヒャエル・エンデ/著 岩波書店





新着図書ピックアップ



新着ピックアップは毎月、司書が「これは、ぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。

『光っていません』

イム ソヌ【著】東京創元社

韓国社会で静かに過ごす人々の8つの話からなる短編集。生きながら自分の幽霊と共に過ごしたり、クラゲになったり…。ファンタジーですが、不思議と現実にあるような世界観で面白く読みすすめることができます。経済的問題、孤独、不安という生き辛さを抱えながら、奇妙な出来事を受け入れ過ごすそれぞれの話は、突拍子のないことながらなぜか違和感なく楽しく感じます。そして、翻訳に全くの違和感がなく現代的な言葉で異国の日常と忘れてしまうぐらいでした。色んなことが起こるけれど、どこかしら希望を感じ、空想しながら元気になれる気持ちのいい本です。(大原)



『ダンス』

竹中 優子【著】新潮社



ホカホカの芥川賞候補作品。

「職場になじめていない」という上司からの評価が気になる入社2年目の主人公。その上、職場の同僚の三角関係のしわ寄せで残業の毎日。作品中ずーっと怒っている主人公ですが、ゆるっとした言葉で愚痴るので思わず笑ってしまいます。嫌いな同僚のあだ名は「かまぼこ1、かまぼこ2」、自分だけ知らなかった職場の常識に気付いたときは「自分だけ渡されていない教科書がこの世に存在するのではないか？」と真剣に悩む。この作品がギスギスした感じなく読めるのはきっとこの主人公のおかげです。(矢田)

『ことばの白地図を歩く 翻訳と魔法のあいだ』

奈倉 有里【著】創元社

海外文学を読むとき、いつも不思議に思うのは…。この本を日本語に翻訳してくれた人は、どのように言葉を選ぶのか。原文の意味に最も近い日本語を探して忠実に翻訳する？それとも原文を読んだ時の自分自身の感動や読書体験を伝えることにこそ力を注ぎ、それにふさわしい言葉を選ぶのだろうか。ロシア文学の研究者で翻訳家の筆者によると「原書の言語を母語とする読者が読んだときの読書体験を再現するのが翻訳者の仕事」だと。なるほど、納得。本書はクエスト方式で外国語を学ぶことの面白さ、ただ言葉を置き換えるだけではない翻訳の奥深さが垣間見えるようになっています。今からでも新しい外国語を学びたくくなりました。(大塚)



EMCでは新着図書を「ブックログ」で紹介しています。

「ブックログ」トップページ ▶ カテゴリー ▶ 2024年1月新着

⇒<https://booklog.jp/users/suzukakyoeilib>

今月の新着本は5月配架（貸出開始）予定です。



次の文章は EMC を訪れたがくとさんと司書のはづきさんが利用状況について交わした会話です。これを読み以下の問いに答えよ。

2025 年 2 月 20 日現在	所蔵数	配架数	貸出数	購入数／リクエスト数
本 (冊)	48,560	1,334	5,114	57/62
DVD (点)	686	65	—	4/4

がくと：EMC にはたくさん本があるんですね。

はづき：EMC の開館当時から 8 年間で本 8000 冊、DVD500 枚くらい増えてるんですよ。

がくと：ずいぶん増えましたねー

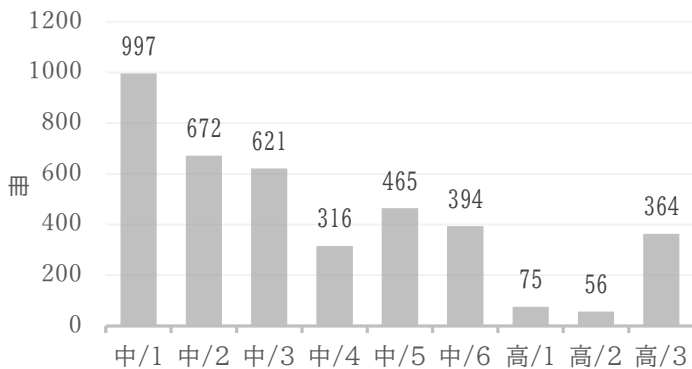
はづき：毎年本 1500 冊、DVD60 枚程度配架しています。司書が選んだ本だけでなく、みんなからリクエストしてくれた本、その他保護者会からも寄贈していただきました。

がくと：DVD はどんなジャンルが多いのですか。

はづき：恋愛作品が多いですね。でも最近はホラーも人気です。

がくと：リクエストされたものは 9 割以上が購入されていますね

はづき：ちょっと興味がある本や観たい作品があったら気軽にカウンターへどうぞ。たくさんリクエストしてくれると嬉しいです。



2025 年 2 月 20 日現在	全体	6 年制	3 年制
1 人当たり貸出冊数(冊/人)	2.3	4.8	0.5
利用率 (%)	30.5	49.3	11.6

がくと：私は本を借りたことがないけれど、他の生徒はたくさん読んでますか。

はづき：一番多い人は一年間で約 200 冊読んでいます。全体の貸出数は、去年は 5919 冊と過去最高でした。ただ中学 1 年生から学年が上がるにつれて利用が少なくなっています。

特に高校 1、2 年生は少ない⁽¹⁾ですね。

がくと：社会的にも高校生の読書離れは深刻化しています。他の高校の様子はどうですか。

県内他校 69 校との比較(2023 年度データ)

	蔵書冊数	一人あたり貸出数	貸出利用率
第 1 位	63,559 冊	52.1 冊	100.0%
平均	26,270 冊	3.0 冊	34.2%
本校	48,718 冊 (2 位/69 校)	2.8 冊 (28 位/69 校)	31.6% (42 位/69 校)

はづき：蔵書冊数は県内でもトップクラスなんですけど、3 人に 2 人が本を借りたことがない状況です。もっと大勢の人に利用してもらえるように選書や展示・企画もがんばりますね⁽²⁾。

がくと：じゃあ、私も本を借りてみようかな

問 1：下線部 (1) について、普段本を読まない高校生が読書を始めるためには、どのような「きっかけ」が必要か、あなたの考えを答えなさい。

問 2：下線部 (2) について、利用を活性化するために、あなたが EMC に望むことは何か、答えなさい。

3 月の開館予定

3 月		
1 土		休館
2 日		休館
3 月	8:10-18:50	
4 火	8:10-18:50	
5 水	8:10-18:50	
6 木	8:10-18:50	
7 金	8:10-18:50	
8 土		休館
9 日		休館
10 月	8:10-17:50	
11 火	8:10-17:50	
12 水	8:10-17:50	
13 木	8:10-17:50	
14 金	8:10-17:50	
15 土		休館
16 日		休館
17 月	8:10-17:50	
18 火	8:10-17:50	
19 水	8:10-16:50	
20 木		休館
21 金	8:10-16:50	
22 土		休館
23 日		休館
24 月	8:10-16:50	
25 火	8:10-16:50	
26 水	8:10-16:50	
27 木	8:10-16:50	
28 金		休館
29 土		休館
30 日		休館
31 月		休館

本屋大賞 2025

★ノミネート本決定★

いまや芥川賞、直木賞にすら引けを取らない本屋大賞。この賞レースに 5 年連続ノミネートするも、大賞を逃がし続けている青山美智子先生をフィーチャーし、今回こそはとエールを送るべく、いままでの作品を振り返ってみましょう。

青山美智子

1970 年愛知県生まれ。

シドニーの新聞記者として

勤務ののち帰国。

雑誌編集者を経て、執筆活動に入る。

2017 年デビュー作『木曜日はココアを』が、

第 1 回「宮崎本大賞」を受賞

する。2021 年より 5 年連続

での本屋大賞ノミネートは

本人の持つ記録を更新。



2021

『お探し物は図書室まで』(ポプラ社)

とある界限で人気職業の図書館司書と、ひっそりと流行った羊毛フェルトの組み合わせに、「生きづらさ」ほっこり解決ストーリーを絡める…結果は初めてにして 2 位！

2022

『赤と青とエスキース』(PHP 研究所)

美術の街、メルボルンを舞台に始まる「赤と青だけの描かれた下絵」をめぐるシャレオツ系正統派連作短編集は傑作と言われるも、またもや痛恨の 2 位！

2023

『月の立つ林で』(ポプラ社)

作家生活 5 周年を迎えた作者が、音声コンテンツ配信サービス「ポットキャスト」の人気再燃をいち早く作品に取り込む！月をテーマにした連作短編集で、3 度目の正直を狙うが 5 位…。

2024

『リカバリー・カバヒコ』(光文社)

この突飛な設定は前回 5 位の影響か？自分の治したいところを触ると回復するという善光寺の「びんずるさま」を彷彿とさせる公園遊具「カバヒコ」が登場…が、まさかの 7 位。

2025

『人魚が逃げた』(PHP 研究所)

絵本作家五味太郎大先生の名作「金魚が逃げた」をモジリながら、ストーリーは人魚姫から着想する。さらにあの有名な人たちも登場させるというなりふり構わない作戦で、今回こそ大賞の栄冠を手にするのか。

『人魚が逃げた』青山美智子著 (PHP 研究所)

本屋大賞を予想しよう

皆さんはどの作品が大賞をとると思いますか。Googlefoam から投票してくださいね。



ズバリ当てた人には何かいいもの
の考えとか

投票はこちら⇒

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdnER5GVIRJMQ2VqW7Bu8ER-xI9gjheirf2Up6p_XUNmVPww/viewform



4月		
1 火		休館
2 水		休館
3 木		休館
4 金		休館
5 土		休館
6 日		休館
7 月		休館
8 火	8:10-16:50	
9 水	8:10-17:50	

同時
開催

今年入った本の中から
EMCが勝手にいろんな大賞きめちゃいます！
第2回 EMC勝手に〇〇大賞

図書館からのお知らせ

- 3 月末を持ちまして雑誌コーナーは廃止となります。
- 春休みの長期貸出実施します。期間 3 月 10 日～25 日⇒返却日 4 月 8 日
- 春休みの開館時間は 8:10～16:50 です。

編集後記 庭の水仙の芽がポツポツ出てきました！（大塚）

春よ来い

